

令和5年度 市政アンケート調査 集計結果活用状況

(令和6年3月末時点)

テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
	これまでの活用状況	今後の活用予定
「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について (住宅都市局 活用課)	<ul style="list-style-type: none"> ・セントラルパーク基本計画策定の基礎資料として、調査結果を活用してきた。 ・セントラルパーク構想は、県をはじめ、市の公園、文化財、観光部署など複数の関係部署が密に連携しながら取り組みを進めている。調査結果は、関係部署と共有し、事業実施の際の基礎資料として活用している。 ・季節の祭りについては、現在も将来も共通して利用ニーズが高いとの調査結果を踏まえ、福岡城さくらまつりや福岡城梅まつりなど、既存イベントの内容を充実させるとともに、多様な民間イベントの受け入れ、季節を通じた賑わい創出に取り組んでいる。また、春、夏、秋の季節のイベントをパッケージ化したイベントガイドを作成するなど、情報発信についても強化している。 	<p>セントラルパーク基本計画の進捗管理や、駐車場再編などの各種事業を検討する際の基礎資料として、調査結果を活用する予定である。</p>
「環境保全の意識」について (環境局 環境政策課)	<p>「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」の推進体制である福岡市環境教育・学習計画推進協議会の中で、指標として活用している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」の指標として活用する。 ・環境保全に関する広報・啓発を行うにあたり基礎となる経年比較や年代比較等の資料として活用する。
「ユマニチュード(R)」について (福祉局 認知症支援課)	<p>市民へのユマニチュードの周知、及び事業検討のための参考資料として活用した。</p>	<p>ユマニチュードの普及啓発に取り組む上での企画・広報等の参考資料として、今後の効果的な事業実施に努めていく予定である。</p>
「救急車の適正利用」について (消防局 救急課)	<ul style="list-style-type: none"> ・「救急車の適正利用」「#7119(救急電話相談・医療機関案内)」の認知度をもとに、広報の成果の指標として活用した。 ・問17で尋ねた「救急車の適正利用」の認知度、問20で尋ねた「救急車の適正利用推進のため必要なもの」をもとに、以下の広報を実施した。 ①市内高齢者約36万人へ家庭内の救急事故防止チラシを配布 ②夏場に熱中症、冬場に発生しやすい救急事故予防啓発について市公式SNSにて情報を発信 	<p>「救急車の適正利用」・「#7119」等の取り組みを、広く市民へ向けて啓発するため、調査結果の分析から年代等のターゲットごとの広報媒体や方法を検討し、真に救急車を必要とする市民の元へ、より速く到着することができる体制の構築を図っていく予定である。</p>
「選挙」について (選挙管理委員会 選挙課)	<p>選挙がないときは常時啓発の、選挙が近づいたときは選挙時啓発の基礎資料として、調査結果を活用している。 さらに、年に1回発行している明るい選挙推進情報誌「せんきょかわら版」の掲載内容を検討する際の参考とした。</p>	<p>若年層の投票率向上のための啓発事業の検討、また、今後、選挙が次回執行される際の啓発事業を検討するための基礎資料として、調査結果を活用する予定である。</p>

第1回

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第2回	「ふくおかさん家のうまかもん」について (農林水産局 政策企画課)	「ふくおかさん家のうまかもん」(市内産農林水産物及びその加工食品等)に関する事業の基礎資料として、調査結果を活用している。	「ふくおかさん家のうまかもん」の認知度向上や利用促進に向けた取組みを推進するとともに、引き続き継続して調査を実施し、効果的な事業を推進するための基礎資料として活用する予定である。
	「消費生活」について (市民局 消費生活センター)	「消費生活センターの認知度」については、「第2次福岡市消費者教育推進計画」の成果指標として位置づけ、福岡市消費生活審議会及び福岡市消費者教育推進会議において、毎年度、報告の上、進捗状況の確認を受けている。認知度はもとより、その他の集計結果についても、毎年度作成する「事業概要」に掲載の上、審議会や推進会議の委員に配布するほか、本庁・各区役所で市民の閲覧に供し、効果的な施策・事業実施に向けた基礎資料として活用している。	当センターに寄せられる相談の動向に加え、幅広い市民の消費生活実態を把握することにより、消費者被害の未然防止・拡大防止に向け、効果的な消費者教育・啓発を実施するための基礎資料として活用する予定である。
	「地域の福祉活動」について (福祉局 地域福祉課)	「福岡市保健福祉総合計画」の地域分野の基本目標における成果指標の数値として活用予定である。	今後も継続して調査を実施し、調査結果をもとに、地域福祉活動を効果的に推進していくため基礎資料として活用する予定である。
	「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について (環境局 脱炭素社会推進課)	・「ECOチャレンジ応援事業」や「住宅用エネルギーシステム導入促進事業」、「次世代自動車の普及促進」により得られるデータなどと合わせて、家庭での省エネ促進や再生可能エネルギー導入拡大、自動車の脱ガソリン車化に向けた、効果的な施策展開を検討するための基礎資料とした。	・家庭における省エネルギーや再生可能エネルギーの導入等に関する取組み状況や今後の取組み予定を把握し、脱炭素社会の実現に向けた施策の検討に活用する予定である。
	「福岡市の教育」について (教育委員会 教育政策課)	「第2次福岡市教育振興基本計画」策定の基礎資料及び策定後の進捗状況の確認資料として、調査結果を活用した。	「第2次福岡市教育振興基本計画」の各施策の効果を検証するとともに、次期計画策定にかかる基礎資料として、調査結果を活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第3回	「福岡市の広報活動」について (市長室 広報課)	市政だよりの特集テーマの選定や、ホームページの運用等において参考とした。 また、「行政運営プラン(R4～R6)」の成果指標の数値として活用した。	今後の市政だよりの発行や、ホームページ・LINE公式アカウントの運用において、調査結果を活用する予定である。
	「情報通信の利用状況」について (総務企画局 サービスデザイン課)	問14で尋ねた「インターネットでできる福岡市の手続き」の認知度向上のため、市ホームページで定期的に情報発信を行った。	行政手続きのオンライン化をはじめとする情報化の取り組みを拡充する基礎資料とし、市民の利便性向上を図っていく予定である。
	「モラル・マナー」と「自転車安全利用」について (市民局 防犯・交通安全課)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度より、モラル・マナーの向上を総合的かつ計画的に推進するため、「福岡市モラル・マナー向上推進本部」を設置し、全庁横断的に施策を進めることとしているところであり、モラル・マナーの現状を詳細に把握し、効果的な施策を検討するために活用している。 自転車損害賠償保険等への加入状況の現状を把握し、効果的な周知・啓発を実施するための基礎資料として調査結果を活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> モラル・マナーの結果については「第9次福岡市基本計画」における指標項目として、自転車安全利用の結果については「福岡市自転車活用推進計画」の成果指標の数値として活用する予定である。 モラル・マナー向上に向けた取組みを推進するための基礎資料とし、市民の意識の向上を図っていく予定である。 自転車損害賠償保険等への加入促進に向けた基礎資料とし、周知・啓発を図っていく予定である。
	「再犯の防止」について (市民局 防犯・交通安全課)	「福岡市再犯防止推進計画」策定の基礎資料として、調査結果を活用した。	<ul style="list-style-type: none"> 「福岡市再犯防止推進計画」にアンケート結果を掲載するとともに、参考指標の数値として活用する予定である。 再犯防止の広報・啓発を強化するための基礎資料とし、市民の関心と理解の醸成を図っていく予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第4回	「『食』の安全・安心」について (保健医療局 食品安全推進課)	「第9次福岡市基本計画」施策3-7の成果指標として活用している。 ・「令和5年度福岡市食品衛生監視指導計画」策定等、食の安全・安心の確保に関する施策の基礎資料として活用した。	福岡市食品衛生監視指導計画策定、食の安全・安心に係る市民啓発など食の安全・安心の確保に関する施策を推進するための基礎資料として活用する予定である。
	「住宅用火災警報器」について (消防局 予防課)	・令和5年度の市内設置状況等調査の基礎資料として活用した。 ・各世代で比較して、高齢者世帯での設置率が低かったことから、市政だよりによる広報や自治協議会等の定例会等を通じた啓発を実施した。 ・住宅用火災警報器について「購入場所が分からない」という結果が多かったことから、市政だよりやホームページ等において「購入可能な場所」について広報した。 ・調査結果を総務省消防庁に報告した。	・「住宅用火災警報器」の設置状況や市民意識の傾向等を把握するための基礎資料とするとともに、今後の設置率向上や維持管理への啓発に向けた広報手段を検討し、市民の防火意識向上を図っていく予定である。 ・本調査結果を総務省消防庁への報告に反映させる予定。
	「博多港(キリン柄のコンテナクレーン)」について (港湾空港局 総務課)	・博多港の重要な役割や魅力について、効果的にPRを展開していくための基礎資料として活用している。	・今後、博多港の更なる魅力向上の推進、PR事業の充実に向けた検討の基礎資料として活用する。
	「福岡市の下水道事業」について (道路下水道局 下水道企画課)	下水道事業の効果的な広報に取り組む上での参考として調査結果を活用した。	・今後の下水道事業の効果的な広報を検討する際の基礎資料として調査結果を活用する予定である。 ・次期「福岡市下水道経営計画」策定の基礎資料として、調査結果を活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第5回	「水道水への意識や水道事業に対する満足度」について (水道局 総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果なども踏まえて、関連する事業が着実に実施できるよう、第2次福岡市水道中期経営計画を策定した。また、節水意識及び水道行政に対する満足度の数値を、福岡市水道長期ビジョン2028及び第2期中期経営計画の成果指標として活用した。 ・「安全でおいしい水道水プロジェクト」の基礎資料として、調査結果を活用した。 ・「水道水の安全性についての不安な理由」を元に、貯水槽管理に関するニーズの把握を行い、事業の検証及び今後の取り組みに活用した。 ・「福岡市の水事情」及び「森林保全活動や交流事業」についての認知度を分析した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水意識、満足度の結果を分析し、より市民のみなさまに伝わる水道広報の検討に活用する予定である。 ・「水道水の安全性」など、水道水質に関するお客さまの意識の変化を経年的に把握し、「安全でおいしい水道水プロジェクト」の取り組み状況の検証等に活用する予定である。
	「緑のまちづくり」について (住宅都市局 政策課)	「福岡市緑の基本計画」策定の基礎資料として、調査結果を活用した。	引き続き次期「福岡市緑の基本計画」策定の基礎資料として、また公園・緑地にかかる施策・事業の検討・推進のための参考資料として、調査結果を活用する予定である。
	「福岡市の行政運営の取り組み」について (総務企画局 行政マネジメント課)	「行政運営プラン」に基づき、効果的・効率的な行政運営に取り組む上での参考として活用した。	「行政運営プラン」に基づき、効果的・効率的な行政運営に取り組む上での基礎資料として活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第6回	「家庭ごみ」について (環境局 計画課、ごみ減量推進課、収集管理課)	・ごみ処理基本計画の取組指標として、調査結果を活用しており、調査結果を基に環境審議会にて進捗状況の評価を行うとともに、ごみ減量施策検討の基礎資料として活用した。	・ごみ処理基本計画に基づく施策の進行管理を行ううえで重要な指標であり、今後も経年変化を把握するとともに、新規施策の検討にも活用していく。
	「ユニバーサル都市・福岡」について (総務企画局 企画調整部)	福岡市基本計画において、「ユニバーサル都市・福岡の推進」の成果指標の数値とするとともに、取組みの基礎資料として活用している。	福岡市基本計画において、令和6年度の目標値を「ユニバーサルデザインの概念の理解度」70.0%、「ユニバーサルデザインの取組みへの評価」65.0%、また、政策推進プラン(第3次実施計画)において、「ユニバーサル都市・福岡のロゴマークの認知度」65.0%と設定し、事業の進捗管理を行っており、引き続き、調査結果を活用して効果的な事業実施に努めていく。
	「福岡市都市景観賞」について (住宅都市局 都市景観室)	市民の景観意識を高め、質の高い都市景観形成へとつなげていくために、特に啓発を強化すべき年代層や、景観向上に必要と考えられている要素の把握に活用した。	「福岡市都市景観賞」を中心とした意識高揚事業を効果的に取り組むうえで、企画・広報等の参考資料とし、市民の景観意識の向上を図っていく予定である。
	「福岡市の屋台」について (経済観光文化局 まつり振興課)	屋台の現状を知ってもらうために、調査結果について記者発表を行い、新聞・テレビに取り上げてもらった。 調査結果について詳細な報告書を作成し、福岡市ホームページに掲載するとともに、様々な説明機会においてバックデータとして活用した。	屋台に対するイメージや問題点などの調査結果を、屋台の魅力を向上させるためのプロモーションなどの施策の参考とする予定である。